

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 当院における COVID-19 パンデミックの大腸癌診療に対する影響

[当院研究責任者] 部署名 外科 氏名 武田重臣

[研究の背景] 2020年2月頃を発端とし、本邦にも COVID-19 感染症が発生した。当初未知の感染症に対する大きな不安が生じ、当院における診療にも少なからず影響を及ぼした。具体的には、当院外科では一時的に入院患者数の制限や、非癌手術を主体として延期を行うなどの対応を行う必要に迫られた。一方で、幸いなことに悪性腫瘍に対する手術治療については、遅滞なく行うという体制を堅持することが可能であった。

しかしながら、いわゆるコロナ禍以前と比較して、手術件数の減少や、結腸癌においては早期癌の比率が減少しているのではないかという印象を日常診療の中で感じている。潜在的な結腸癌患者の背景がこれほど急激に変化するとは考えにくいため、従来からの診断から治療に至るプロセスのどこかに遅滞が生じている可能性があることが懸念される。

[研究の目的] 将来のパンデミック下における大腸癌診療を適正化するための有効な方策について考察を行うことを目的とする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2019 年 1 月 1 日から西暦 2024 年 12 月 31 日の間に当院において大腸癌の診断および治療を行った患者さん

●研究期間： 2025 年 2 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、大腸癌の進行度、治療内容（術式）

●利用する検体、カルテ情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

収集する情報には個人情報が含まれますが、解析に利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情

報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 外科 氏名 武田 重臣

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139